

## 保健センターに授乳室を設置

### ○母子保健推進事業費／母子保健事業費 131万円

**【概要】** 保健センターを利用する子育て中の女性の方が、気軽に安心して授乳できる環境整備を行うもの。

**質疑** 保健センターに設置する授乳室の仕様および設置場所について。また設置前はどうのように対応していたのか。

**答弁**

サイズは、奥行きが120センチメートル、幅が180センチメートル、高さが200センチメートルの木製の箱型の授乳室で、付属品として授乳チェア、おむつ交換台、照明、電源コンセントがある。ベビーカーも入り、赤ちゃんと小さいお子様連れでも、余裕のある広さになっている。場所は、保健センターの1階の東側の一角に空きスペースがあり、そこに設置する予定である。設置前は、空き部屋を案内したり、赤ちゃんと親御さんの教室がある時は、部屋の一角をパーテーションで仕切るなど、プライバシーに配慮し対応していた。



設置予定と同型の授乳室

**質疑**

**答弁**

設置する授乳室は1人用であり、赤ちゃんがたくさん来場する教室などの際は、箱型の授乳室とあわせて、部屋の一角をパーテーションで仕切り、プライバシーに配慮して、授乳コーナーを設ける必要があると考えている。

## 産業建設分科会



議案第65号 令和7年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)

12月11日

## 企業誘致を進めるための鈴鹿PAスマートICの改修

### ○鈴鹿PAスマートIC ETCソフトウェア改修業務

債務負担行為補正(追加) 2,500万円

**【概要】** 鈴鹿PAスマートIC(鈴鹿パーキングエリアスマートインターチェンジ)における通行可能車両は現状、全長18メートル未満までの車両となっており、全長21メートル～25メートルのダブル連結トラックは通行できない仕様となっているため、ETCセンサーを改修し、ダブル連結トラックを通行可能にしようとするもの。

**質疑**

**答弁**

ETCセンサーはNEXCO中日本の所有物であるため、当初はNEXCO中日本に改修を要望していたが、NEXCO中日本としては、費用対効果の観点から費用負担をしていただけなかった。しかしながら、本市としては、物流業を中心とした企業誘致を有利に進めることができるなどのメリットがあるため、本市が費用負担を行うことになった。